

神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会（第3回）議事録

<質疑応答>

【足柄ふれあいの村】

（C委員） 県内の学校が宿泊学習等で利用している施設であるが、新型コロナウイルス感染症以降、学校の宿泊学習や体験活動が減ってきており、教職員の中にも体験活動に消極的な意見があるという話も聞いている。そうした中で、今後の施設運営で学校のニーズにどのように対応していくかといった点を詳しく聞きたい。

（申請団体） 学校利用が減少している理由は、社会の変化や、物価高騰の影響などもあると思うが、学校の教職員が何を気にしているか、何をすれば体験活動に戻っていただけるか、といったことを把握するため、県内の各学校へのアンケートを実施したいと考えている。その結果に応じて、教職員向けの研修会を行うなどの対応を行い、利用者増を図っていききたい。

（C委員） 現在、把握しているニーズなどはあるか。

（申請団体） やはり、新型コロナウイルス感染症による活動の休止によって学校内での指導方法の継承などが途切れてしまった。若い先生が増えている中で、指導方法を継承したいといったご意見をいただいている。

（E委員） 自然が豊かな施設だが、資料では極力薬剤を使用しないといった提案がある。自然の中には虫がいることが自然だと思うが、木が枯れるなどしたときはどのような対策を考えているか。

（申請団体） 恵まれた自然環境がこの施設の魅力だと考えている。施設ができてから時間がたっているので、樹木が相当大きくなっており、倒木の危険が生じる場合もある。基本的には自然のままにする方針だが、危険な木は早期に把握して伐採するなど、バランスは難しいが安全を第一に対応していききたい。

（B委員） 資料の中に、職員の労働時間の短縮、有給休暇の取得などについて具体的に記載されているのは良い。勤務体制について繁忙期と閑散期のある施設でシフトを組むのは、法律とも関連するので難しいと思う。職員配置などはどう考えているのか。

（申請団体） 本社と相談しながら配置を検討している。働かせすぎたりといったことのないよう、社会保険労務士の方とも相談しながら、法律

に基づいて職員を配置している。

(B 委員) 障害者雇用率について、現時点で達成していないと資料にあるが、障害者雇用率は段階的に上がっていく。今後、ぜひ障害者雇用を進めてほしい。

(A 委員) 会計に関して聞きたい。申請書類の財務諸表には監査報告書の添付がないが、会計書類に対する内部チェック体制や、外部監査の状況を聞きたい。

(申請団体) 外部の監査は行っていない。内部チェック体制としては、監査役がおり、毎月の業績報告や、年度の決算などにおいてチェックしていただいている。申告書類作成は公認会計士にお願いをしております、外部監査の実施はないが正しく会計処理できていると考えている。

(A 委員) 監査もしくは税務当局から指摘事項は特段なかったか。

(申請団体) 過去の税務調査では、特段の指摘は受けていない。

(A 委員) もう一点、経費積算について聞きたい。光熱水費について直近の実績に比べ 2.5 倍ほどの見積もりになっているが、この背景を教えてください。

(申請団体) 募集要項の仕様に従い、クリーンエネルギーへの契約変更による電気代の増が見込まれること、南足柄市で水道代の値上げが行われていることを反映している。

(D 委員) ボランティアの育成や大学との連携について提案されているが、人材育成という観点で配慮している点、大事にしている点を聞きたい。

(申請団体) 施設のボランティアとして参加を希望する人向けにボランティア育成のキャンプを実施し、活動の注意点や子どもたちへの指導の方法などを事前にキャンプで伝えている。特にきんたろうキャンプはボランティアの協力が不可欠で、大学との連携により大学生に参加していただくことが大事である。大学生と小学生の関わりは非常に良い効果があるので、新たな大学と連携協定を結ぶよう努力しているところである。

【愛川ふれあいの村】

(C 委員) 他にも複数の指定管理施設を管理していて、近年、学校利用が減少している現状があり、この先学校利用だけで利用者を増やすのはなかなか難しいと思う。その上で、団体として複数の施設を運営している中で、複数の施設間で課題の抽出や対策の共有など連携した取組は行っているか。

(申請団体) 定期的に各施設の職員同士が交流、研修する機会を設けており、その中で具体的なアクティビティの反応など好事例の共有を行っている。学校利用という観点では、厚木市七沢の施設と連携を密にしているほか、私立学校から私たちに指導依頼があった場合に、指定管理する施設を会場とするなど利用の促進につなげることをしている。直接的な学校利用に向けた対策は難しいが、教育委員会や学校への訪問等は継続的に行っている。

(C 委員) グラウンドや体育館があるのは施設の強みであるが、合宿などスポーツ関係の利用はどのように考えているか。

(申請団体) 体育館が改修されるので、スポーツ利用にも力を入れていきたいと考えている。今回主催事業の提案にもあるとおり、まず主催事業に参加して施設を知ってもらい、そこから学校利用につながればよいと考えている。

(E 委員) 自然豊かな施設だが、施設の自然を守る取組を教えてほしい。

(申請団体) 樹木の専門家にも見ていただき、危険な植栽については安全性の観点から県とも相談して伐採等を行っているが、伐採後の木材はウッドチップにするなどの再利用を進めていく。低木や芝などの植栽についてはグラウンドなど利用が多い場所を重点的にメンテナンスしている。また、事業の中で生き物観察のプログラムもあるので、そういった活動に合わせて生き物が生息できる環境を残しつつ、安全を確保する方針である。

(B 委員) 労働環境について、申請書類には是正勧告等の報告がないが、そういったことはなかったという理解でよいか。

(申請団体) 本年 2 月に現場で業務災害があり、是正勧告を 1 件受けている。申請書提出時点では労働基準監督署から勧告が届いていなかったなので、申請書には記載しなかった。職員が業務中に怪我をしたことによるものである。

(B 委員) 労務災害ということか。

(申請団体) そのとおりである。

(B 委員) 労働時間について、具体的な方策をとっていただければ教えていただきたい。例えば、労働時間の短縮の方針や有給休暇の年 5 日の取得義務の達成状況などについて教えてほしい。

(申請団体) 代表企業では年 5 日の年休取得を会社としても義務化しており、取得率は 100%を達成している。また残業時間について把握している限り、平時は 36 協定に抵触するような状況は一切ない。

(B 委員) 規程類の整備について、このところ労働法制の改正が頻繁に行われているが、そういったことへの対応はどうか。

(申請団体) 社内ですっかり対応している。

(D 委員) プレゼンテーションの中で「ファンを獲得」というキーワードがあったが、施設に来たことのない人がまず足を運びたくなるような工夫について聞かせていただきたい。

(申請団体) 全く施設を知らない人に知ってもらうのは難しいが、一つはイベント出展で、全く知らない人が通りかかったときに、チラシを取ってもらって施設を知ってもらう機会を作りたい。こうしたことはこれまでも行っているが、より力を入れていきたいと考えている。また、新たな提案として外部の予約サイトに登録することで、位置情報や過去の検索履歴等から、愛川ふれあいの村が自動的におすすめされていくことを狙っている。さらに、事業として、大人向けのプログラムや、スポーツ大会等で知らない人が来てくれるようにしていきたい。

(A 委員) 実際に指定管理期間中にあった苦情やその対応策や対応中の事案があれば教えていただきたい。

(申請団体) 利用者のニーズということだと、施設の老朽化に起因するご意見をいただくことがある。徐々に改修を進めているが、和式便器が多くあるなどの課題がある。